

デッキバス(シャワー)混合栓施工説明書

一般地用

寒冷地用

フロリダ
フロリダ

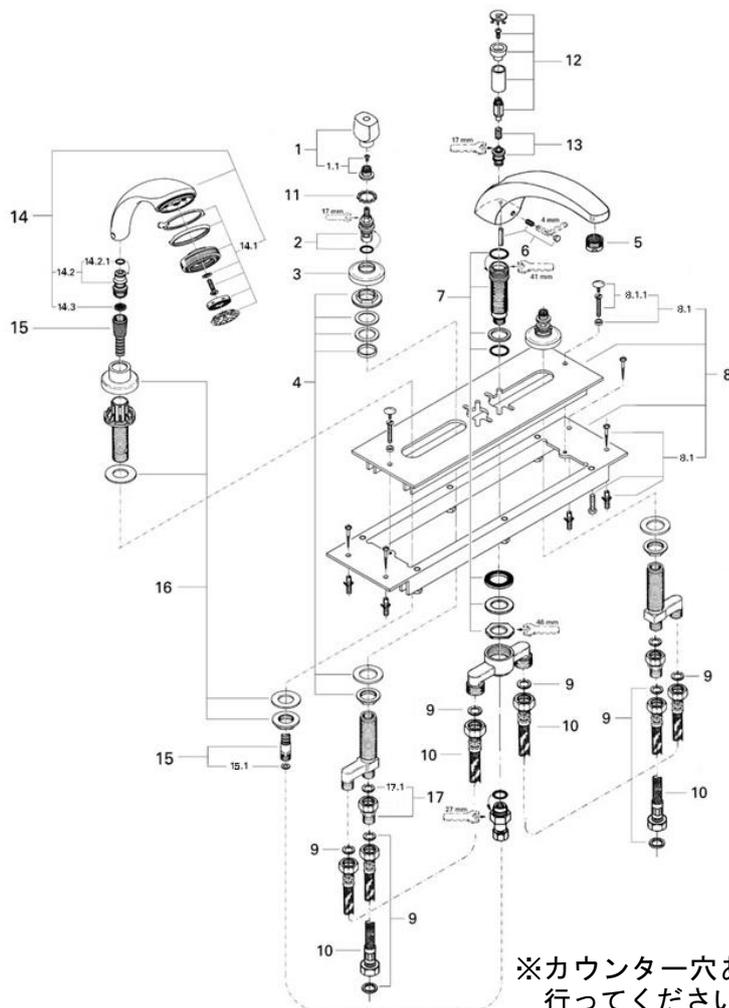
2 5 6 0 3

2 5 6 3 1

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

完 成 図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
1	ハンドルセット
1.1	インサート
2	ヘッドパーツ
3	化粧プレート
4	締付ナット
5	エアレーター(シストラ)
6	固定ビスセット
7	ニップルセット
8	施工デッキプレート
8.1	取付ボルト一式
8.1.1	取付ビスセット
9	パッキン
10	接続ホース
11	カラー
12	切替弁ノブ
13	切替弁
14	シャワヘッド
14.1	散水板セット
14.2	ニップル
2.1	Oリング
15	ホース
15.1	ホースパッキン
16	シャワホルダセット
17	逆止弁アダプター
17.1	パッキン

※カウンター穴あけ寸法は付属のテンプレートを使用して行ってください。カウンター厚 40mm 以下。

安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.05Mpa [0.5kgf/C㎡])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C㎡])の範囲とします。

※給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.05Mpa [0.5kgf/C㎡])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C㎡])の範囲とします。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

レバー、ハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C㎡]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

- 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

施工前の注意

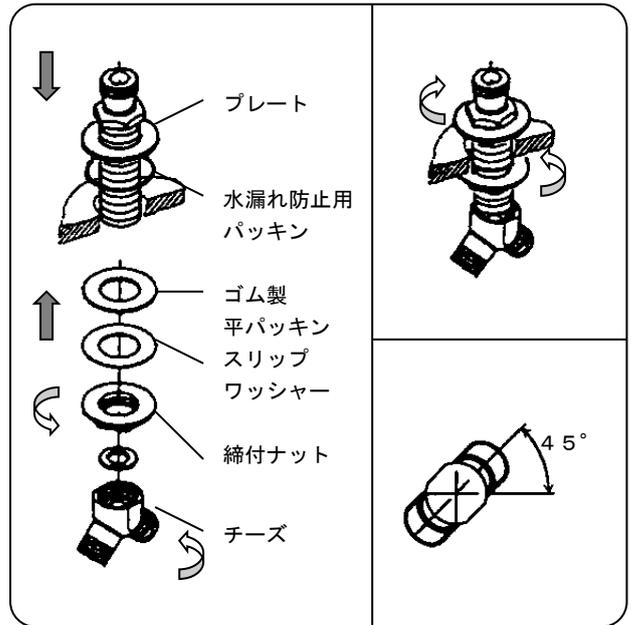
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
- 給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
- 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。
- 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。
- 取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。
- 給水・給湯管緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。
- 施工デッキプレート45200の施工説明書も併せてご覧ください。

施工手順

1. 25603ニップルの取り付け (図1参照)

- ①吐水口付属部品を収納している箱からニップルを取り出し、水漏れ防止用パッキンを取り出し、プレートに取り付けてください。
- ②ニップルをカウンター上部から取り付け穴に挿入します。カウンターうらからゴム製平パッキン、スリップワッシャーを挿入し、締付ナットで締め付け、仮に止めておいてください。
- ③ニップルの六角部をスパナで固定し、付属のチーズを完全にねじ込んでください。
チーズが斜め45°になる位置でニップルの六角部を固定し、締付ナットを完全に締め付けてください。
※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。ニップルを固定する際、取り付け穴の中心にくるように取り付けてください。
※ニップルが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。

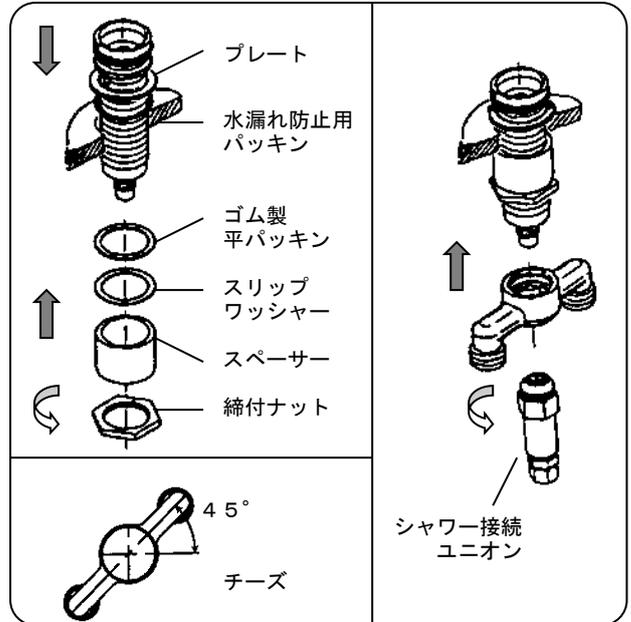
図1



2. 25631ニップルの取り付け (図2参照)

- ①吐水口付属部品を収納している箱からニップルを取り出し、水漏れ防止用パッキンを取り出し、プレートに取り付けてください。
- ②ニップルをカウンター上部から取り付け穴に挿入します。カウンターうらからゴム製平パッキン、スリップワッシャー、スペーサーを挿入し、締付ナットで締め付けてください。
- ③ニップル下部に付属のチーズを差し込み、斜め45°になる位置でシャワー接続ユニオンを完全にねじ込んでください。
※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。ニップルを固定する際、取り付け穴の中心にくるように取り付けてください。
※ニップルが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。

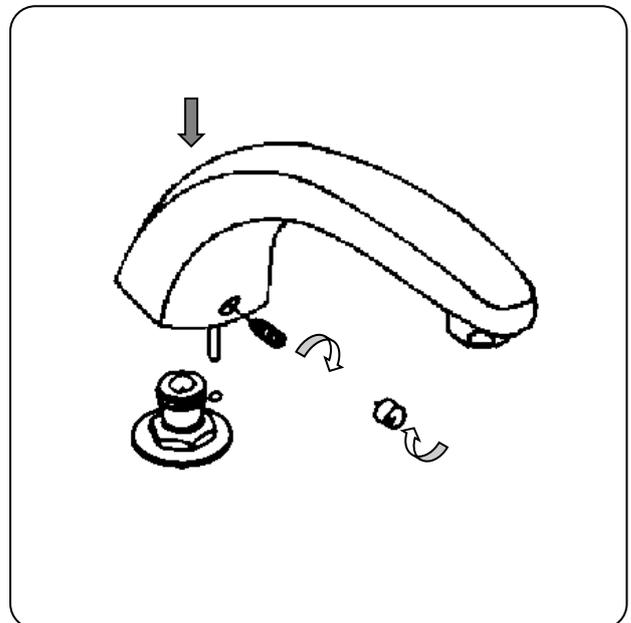
図2



3. 吐水口の取り付け (図3参照)

- ①固定ピンとカウンターの穴を合わせ、ニップルに吐水口を手で差し込みます。
- ②吐水口に固定ビスを工具(4mm六角レンチ)で右回しにねじ込みます。
- ③固定ビスに化粧ナットを工具(10mmスパナ)で右回しにねじ込みます。
※固定ピンの穴にはコーキングをお勧めします。
※吐水口が差し込みにくい場合はニップルのオーリングにグリスを塗ってください。
※吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度固定ビスを締め直してください。

図3



取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

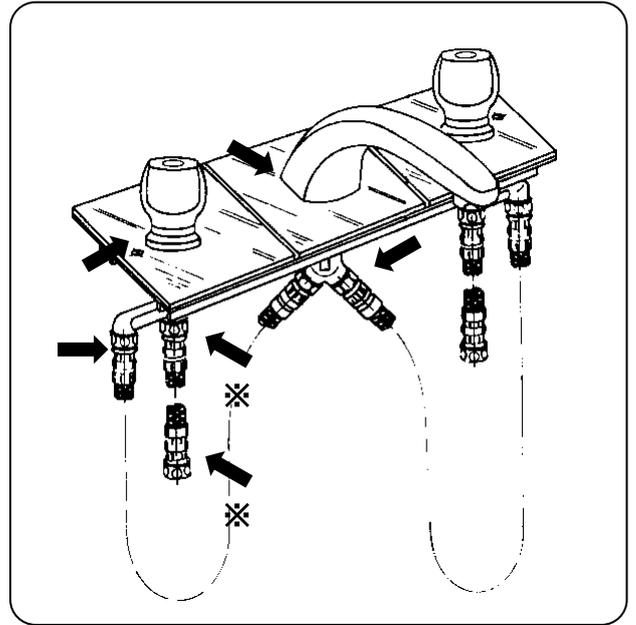
1. 接続部の水漏れ (図6参照)

吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

- 止水栓と接続ホースの接続部。
- 接続ホースとバルブ給水・湯給口の接続部。
- バルブとハンドルの接続部。
- バルブ出口と接続ホースの接続部。
- 接続ホースとチーズの接続部。
- チーズ、ニップルと吐水口の接続部。

※特に、この部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締付を行ってください。

図6

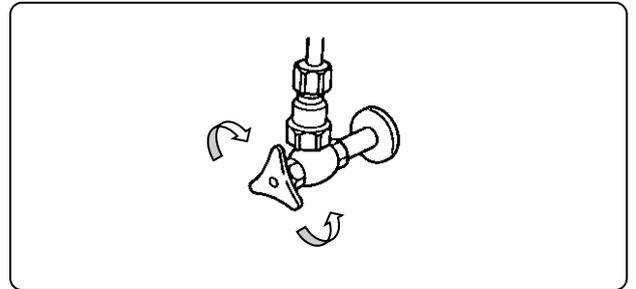


2. 水量・湯温の調節 (図7参照)

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

図7



故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

ハンドル
5. きちんと取り付けられているか?

止ビス
7. 十分に締め付けてあるか?

パッキン
4. キズ・ゴミかみはないか?

切替弁
9. キズ・ゴミかみはないか?

ヘッドパーツ
3. 破損・ゴミかみはないか?

泡沫器
2. ゴミづまりはないか?

吐水口オーリング
10. キズ・ゴミかみはないか?

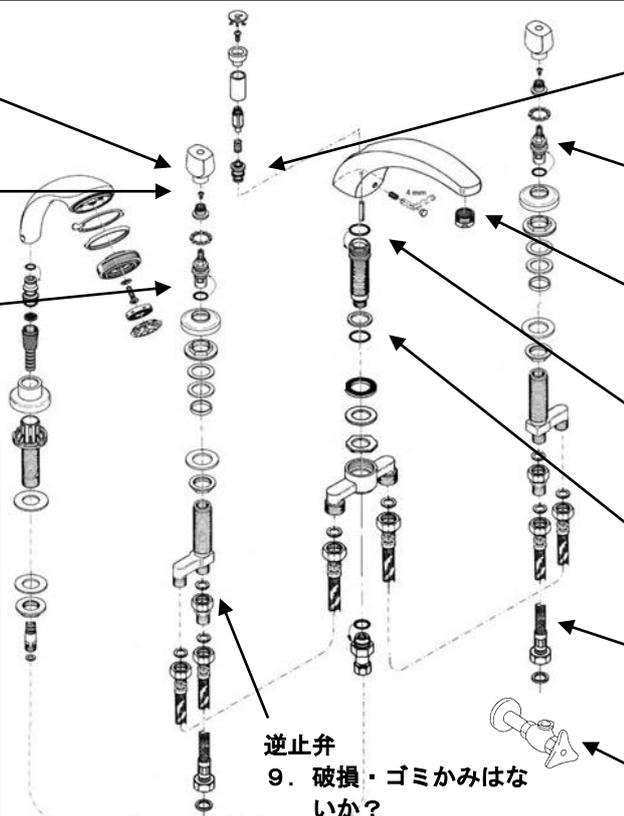
水漏れ防止パッキン
6. きちんと取り付けられているか?

接続ホース
11. きちんと施工されているか?

逆止弁
9. 破損・ゴミかみはないか?

止水栓
1. 全開されているか? 圧力は十分か?

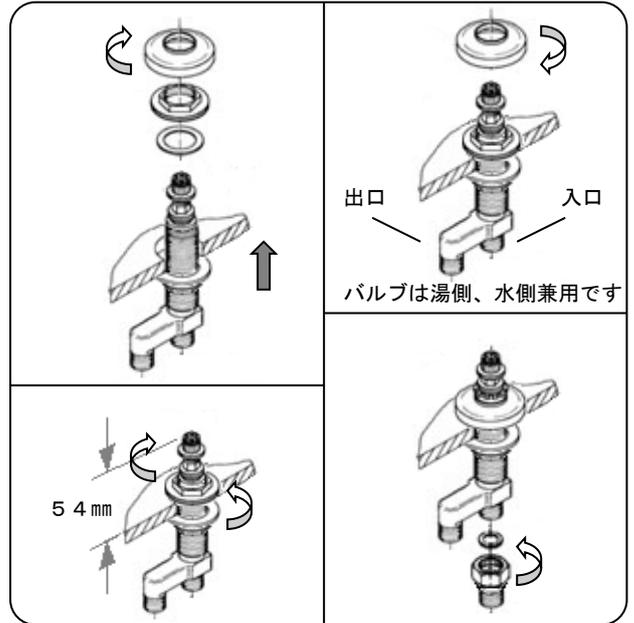
現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2. 8
水が止まらない	3. 4
温度不良	1. 3. 8
ハンドルがガタつく	5. 7
カウンター内に漏水する	6. 11
吐水口より漏水する	10
シャワーに切り替わらない	1. 9



4. バルブの取り付け (図4、5参照)

- ①バルブに付属しているフランジ、上側の締付ナット、ゴム製平パッキンを取り外してください。バルブの入口と出口 (矢印の刻印で表示) を確認し、カウンター下部より挿入してください。
- ②上側のゴム製平パッキンを挿入し、締付ナットで挟み込み。プレート装着代5.4mmをとり、尚且つ入口と出口の向きが施工しやすい位置で上下の締付ナットを締め付けてください。
- ③フランジを締付ナットのネジ部に手でねじ込んでください。
- ④バルブの入口に逆止弁をスパナ等で確実に締め付けてください。
- ⑤バルブのインサートを手で回し閉栓の状態にします、ハンドルはインサートの爪が折れないよう注意しながら真っ直ぐに、確実に、はめ込んでください。
 ※バルブが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。
 ※フランジのねじ込みで工具を使用する時は傷がつかないように注意してください。
 ※インサートが抜けかない事を確認してください。
 ※閉栓は右回しです。ハンドルの向きはお客さまとご相談のうえ取り付けてください。

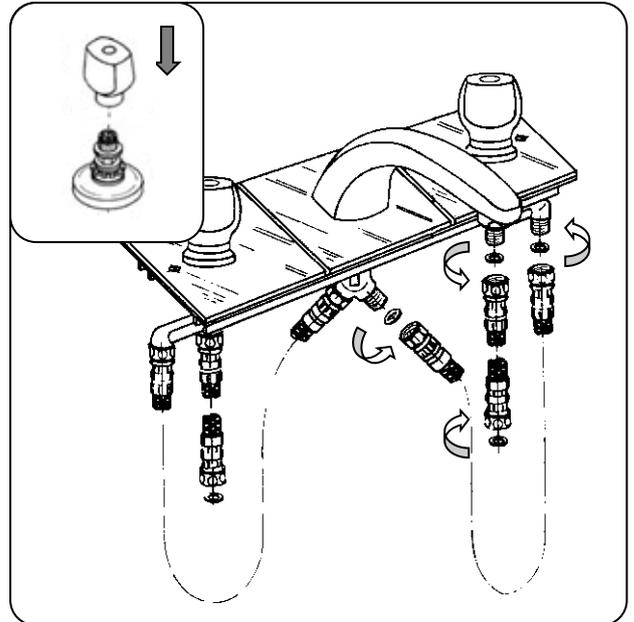
図4



5. 吐水口とバルブの接続 (図5参照)

- ①接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んでください。
- ②バルブ側の給水、給湯、吐水口のチーズに接続ホースの袋ナットを、スパナ等で確実に締め付けてください。
 ※付属のパッキンを紛失の場合は同径の市販品パッキンでもご利用できます。
 ※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
 ※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

図5



6. 25631シャワーの取り付け (図6参照)

- ①シャワーホルダーを小箱から取り出し、ワッシャー、締付ナットを取り外します。
- ②シャワーホルダーをカウンター上部から取り付け穴に挿入します。カウンターうらからワッシャーを挿入し、締付ナットで完全に締め付けてください。
- ③ホースをホルダーより挿入し、シャワー接続ユニオンの袋ナットにスパナ等で完全に締め付けます。
- ④シャワーヘッド組込みのニップルを取り外し、ホースに完全にねじ込みます。
- ⑤シャワーヘッドを、ホースに接続したニップルに差し込んでください。
 ※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。ホルダーを固定する際、取り付け穴の中心にくるように取り付けてください。
 ※ホルダーが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。
 ※ホースの接続はシャワー接続ユニオンの六角部を工具で固定して行ってください。またホースがつぶれないように注意してください。
 ※ホルダーの化粧部は構造上回転します。 部品の不良ではありませんので、ご使用に関しては何ら問題はありませぬ。

図6

